様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成　26　年度
１次評価日（主幹等）	27 年 3 月 23 日
２次評価日（課長等）	27 年 3 月 31 日

１ 事業名	塵芥収集事業	コード	81113

２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	環境課	作成者	黒渕　浩人

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
	政　策	循環型社会の構築	施　策	廃棄物対策の推進
予算科目		塵芥収集事業費	業務委託	一部委託
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
根拠法令		廃棄物処理及び清掃に関する法律（昭和４５年法律第３７号）		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		定位置に排出された燃えるごみ、燃えないごみの効率的な収集及び、清掃湖周クリーンセンター稼動後のごみの受入れに対し、さらなる分別の徹底を図る。
目的	対象者	ごみを排出する市民や事業者
	意　図	ごみ減量と３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

５ 事業の実施内容

＊26年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

	・燃えるごみ６コース（週２回）の収集委託を長期契約（H26.4.1-28.8.31）を実施し、湖周クリーンセンター稼動予定の平成２８年８月までの間は、諏訪市、下諏訪町清掃センター等へ搬入。 ・燃えるないごみ１コース（月１回）の収集委託を長期契約（H26.4.1-29.3.31）で実施した。 ・委託業者に年度初めの出発式、毎月末の連絡調整会議を通じ、未収集の徹底及び事故防止の注意喚起を行った。 ・廃棄物処理業等の許可、更新業務を行った。 ・廃棄物処理手数料の収納業務を行った。
前年度の課題への対応	・分別に対しきめ細かな指導を行い、周知を図った。 ・違反ごみの対応として、違反シールの貼り付けを業者に徹底し、分別意識の向上を図った。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		24年度	25年度	26年度	27年度（予算）
① 直接事業費		46,281,066	49,233,095	56,612,483	58,032,000
	経常経費	46,281,066	46,153,970	47,471,579	47,494,000
	臨時的経費	0	3,079,125	9,140,904	10,538,000
	＊臨時的経費の説明	＊収集運搬経費のうち、諏訪市、下諏訪町清掃センターへの追加運搬分			
② 人件費		8,000,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
	正規職員の人数（人）	1.00	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト（①＋②）		54,281,066	52,433,095	59,812,483	61,232,000
	前年度比		96.6%	114.1%	102.4%
	財源内訳 一般財源	22,161,266	16,171,395	27,466,967	22,071,000
	財源内訳 特定財源	32,119,800	36,261,700	32,345,516	39,161,000
	＊特定財源の説明	＊廃棄物処理手数料			
④ コストに関する補足説明					

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、％］

負担金補助金		24年度	25年度	26年度	27年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） ・可燃ごみの排出量目標の達成に向けて、資源物回収などを含め、ごみ収集コース、収集定位置などの全体的な見直しに向けて検討する必要がある。
改善方法	（上記の課題をふまえて27年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ごみ減量へ「まったなし」を共通のキーワードとして、ごみの発生抑制、分別についての意識啓発を図る。
改善開始時期	平成２７年４月

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による27年度の優先度 *H25年度施策評価表より転記すること	B